



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年9月17日

上場会社名 大同メタル工業株式会社
 コード番号 7245 URL <http://www.daidometal.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 判 治 誠 吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 三 代 元 之
 経営・財務企画ユニット長

上場取引所 東 名

TEL 052 - 205 - 1400

四半期報告書提出予定日 2019年9月17日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	25,482	4.5	1,144	34.6	1,075	28.3	498	33.7
2019年3月期第1四半期	26,686	7.6	1,749	89.8	1,499	42.1	751	55.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 931百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 316百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	10.48	
2019年3月期第1四半期	18.88	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	161,823	65,257	35.0
2019年3月期	161,881	65,253	35.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 56,631百万円 2019年3月期 56,636百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		15.00	30.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		20.00		15.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年3月期中間配当金の内訳 普通配当15円00銭 記念配当5円00銭(創立80周年記念配当)

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,000	5.2	2,400	35.4	2,400	28.8	1,200	31.8	25.25
通期	100,100	7.1	4,500	38.0	4,400	33.6	4,800	16.1	101.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	47,520,253 株	2019年3月期	47,520,253 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	324 株	2019年3月期	324 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	47,519,929 株	2019年3月期1Q	39,815,213 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料「2020年3月期 第1四半期(累計)【連結】決算ハイライト」は、TDnetで本日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間より、作業くず売却収入の計上区分の変更を行っており、遡及修正後の数値で前年同四半期比較を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の影響等で不透明感が増し、全体として経済の停滞感、景気の減速感が広がっております。

わが国経済は、緩やかに回復しているものの、輸出を中心に弱さが続いており、設備投資は世界経済の減速の影響から足踏みの傾向が見受けられます。

このような市場環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、自動車産業関連の全世界的な需要の伸び悩みにより、売上高は254億82百万円と前年同四半期比12億4百万円(△4.5%)の減収となりました。

利益面では、営業利益は11億44百万円と前年同四半期比6億5百万円(△34.6%)の減益。経常利益は10億75百万円と同4億23百万円(△28.3%)の減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億98百万円と同2億53百万円(△33.7%)の減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は、セグメントの売上高に含めております。

① 自動車用エンジン軸受

日本国内の当第1四半期連結累計期間の新車販売台数は、前年同四半期比微増ながら、海外は中国が11~12%の減少、欧米、アジア諸国においても微減となっております。

そのような状況下、当社グループの国内売上高及び海外売上高とも減少し、国内は前年同四半期比約7.9%減、海外も自動車産業全体の需要減により同約5.1%減となったことから、当セグメントの売上高は同6.2%減収の155億75百万円となりました。セグメント利益は同9.8%減益の17億33百万円となりました。

② 自動車用エンジン以外軸受

商社向け販売(中東向けなど)の減少を受け、売上高は前年同四半期比3.5%減収の38億69百万円、セグメント利益は同12.3%減益の6億57百万円となりました。

③ 非自動車用軸受

・船舶分野

需要回復傾向が継続しており、2019年4~6月分の輸出船受注量は、199万総トンとなり、前年同四半期比約26%増加しており、当社の売上高も増加となりました。

・建設機械分野

国内は底堅い需要があるものの、海外需要は中国の影響を受け減少となり、全体としては減速感が出始めております。

・一般産業分野におけるエネルギー分野

発電向け設備投資が低調であったことなどから、売上高は減少となりました。

上記の結果、セグメント売上高は前年同四半期比5.4%増収の23億98百万円、セグメント利益は同8.2%増益の3億66百万円となりました。

④ 自動車用軸受以外部品

・アルミダイカスト製品

世界的な自動車生産の落ち込みによる受注の減少から、売上高は前年同四半期比で減少しております。営業利益については合理化による利益創出があったもののタイの新工場（DMキャストリングテクノロジー（タイ）CO., LTD.）建設に伴う初期費用の発生により減益となりました。

・曲げパイプ、ロックピン、NC切削品などの部品

受注増加により増収となりましたが、営業利益面については国内拠点集約による一時的な再編費用の増加により減益となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同四半期比0.7%減収の37億90百万円、セグメント損失は12百万円となり、前年同四半期のセグメント利益1億66百万円から1億78百万円となりました。

⑤ その他

米中貿易摩擦の影響による全般的な設備投資の減速を受け、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業及びポンプ関連製品事業に不動産賃貸事業等を加えた当セグメントの売上高は前年同四半期比9.8%減収の6億12百万円、セグメント利益は同16.2%減益の1億39百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間における総資産は1,618億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円減少いたしました。これは主に固定資産が増加した一方で現金及び預金が減少したことによりです。

流動資産は775億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億78百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が減少したことによりです。

固定資産は842億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億19百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産、投資その他の資産が増加したことによりです。

負債につきましては965億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が増加した一方で長期借入金が増加したことによりです。

純資産は652億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が減少した一方で為替換算調整勘定のマイナスが減少したことによりです。

自己資本比率は前連結会計年度末と同様の35.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、23億37百万円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益10億75百万円と、減価償却費22億7百万円によりです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、22億96百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出19億54百万円によりです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、10億18百万円の支出となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が8億70百万円、配当金の支払額が6億75百万円あったことによりです。

以上により、当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は162億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億87百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績につきましては、前回業績予想（2019年5月10日公表）に対し、米中貿易摩擦長期化の影響を受け、当社の主要顧客であります自動車業界における経済環境の不透明感が強まる中、自動車販売の需要が鈍化しており、前回公表した業績予想を下回る見通しとなったため、上記のとおり修正いたします。

なお、業績予想を公表していなかった2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、その後の状況及び業績動向を踏まえ、上記のとおり策定いたしましたのでお知らせいたします。

なお、前提為替レートにつきましては、2019年5月10日公表時点での1 U S ドル/110円、1 ユーロ/123円を、1 U S ドル/105円、1 ユーロ/117円に変更しております。

2020年3月期【第2四半期（累計）】連結業績予想数値（2019年4月1日～2020年9月30日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
2020年3月期 第2四半期（累計） 前回予想（A）	53,000	2,900	2,800	1,600
2020年3月期 第2四半期（累計） 今回予想（B）	51,000	2,400	2,400	1,200
増減額（B－A）	△2,000	△500	△400	△400
増減率（%）	△3.8%	△17.2%	△14.3%	△25.0%
（ご参考）前期実績 2019年3月期 第2四半期（累計）	53,822	3,716	3,372	1,758

2020年3月期【通期】連結業績予想数値（2019年4月1日～2020年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2020年3月期 通期 前回予想（A）	—	—	—	—
2020年3月期 通期 今回予想（B）	100,100	4,500	4,400	4,800
増減額（B－A）	—	—	—	—
増減率（%）	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 2019年3月期 通期	107,718	7,262	6,630	4,135

- (注) 1. 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 従来、製造の過程で生じる作業くず（金属屑及び廃液）の売却収入を営業外収益のスクラップ売却収入に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より製造費用から控除する方法へと会計方針を変更しております。各前期実績については、当該会計方針の変更が遡及適用された後の数値となっております。
3. 2019年3月28日に開示しました「固定資産の譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、2020年3月期における親会社株主に帰属する当期純利益には、譲渡益約3,906百万円（税金等控除前）を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,605	18,779
受取手形及び売掛金	27,109	26,244
電子記録債権	2,809	2,667
商品及び製品	11,452	11,787
仕掛品	9,508	9,925
原材料及び貯蔵品	6,578	6,605
その他	2,382	2,992
貸倒引当金	△1,303	△1,437
流動資産合計	78,142	77,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,690	16,480
機械装置及び運搬具（純額）	26,116	25,648
その他（純額）	19,235	20,195
有形固定資産合計	62,043	62,323
無形固定資産		
のれん	7,147	6,949
その他	5,444	5,621
無形固定資産合計	12,591	12,571
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,154	9,414
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	9,103	9,363
固定資産合計	83,739	84,258
資産合計	161,881	161,823

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,437	7,538
電子記録債務	8,759	8,810
短期借入金	22,703	23,138
1年内返済予定の長期借入金	6,428	6,325
未払法人税等	1,066	582
賞与引当金	1,976	900
役員賞与引当金	181	70
製品補償引当金	214	282
環境対策引当金	99	99
営業外電子記録債務	1,007	794
その他	7,011	9,676
流動負債合計	57,885	58,220
固定負債		
長期借入金	26,017	25,446
環境対策引当金	1	1
退職給付に係る負債	6,795	6,739
資産除去債務	17	17
負ののれん	1	0
その他	5,908	6,139
固定負債合計	38,742	38,345
負債合計	96,628	96,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,413	8,413
資本剰余金	13,114	13,114
利益剰余金	36,655	36,440
自己株式	△0	△0
株主資本合計	58,182	57,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	906	831
為替換算調整勘定	△352	△150
退職給付に係る調整累計額	△2,100	△2,017
その他の包括利益累計額合計	△1,545	△1,336
非支配株主持分	8,617	8,626
純資産合計	65,253	65,257
負債純資産合計	161,881	161,823

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	26,686	25,482
売上原価	19,698	19,007
売上総利益	6,988	6,474
販売費及び一般管理費	5,238	5,330
営業利益	1,749	1,144
営業外収益		
受取利息	16	17
受取配当金	35	37
為替差益	—	43
負ののれん償却額	0	0
持分法による投資利益	43	20
その他	91	98
営業外収益合計	186	217
営業外費用		
支払利息	212	241
為替差損	183	—
その他	41	44
営業外費用合計	436	286
経常利益	1,499	1,075
税金等調整前四半期純利益	1,499	1,075
法人税、住民税及び事業税	663	553
法人税等調整額	△83	△81
法人税等合計	580	471
四半期純利益	919	604
非支配株主に帰属する四半期純利益	167	105
親会社株主に帰属する四半期純利益	751	498

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	919	604
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△227	△75
為替換算調整勘定	△1,011	267
退職給付に係る調整額	56	86
持分法適用会社に対する持分相当額	△52	49
その他の包括利益合計	△1,235	327
四半期包括利益	△316	931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△279	707
非支配株主に係る四半期包括利益	△37	224

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,499	1,075
減価償却費	2,087	2,207
のれん償却額	70	211
負ののれん償却額	△0	△0
持分法による投資損益 (△は益)	△43	△20
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	88	94
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,066	△1,076
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△83	△110
退職給付に係る資産負債の増減額	49	△73
受取利息及び受取配当金	△51	△55
支払利息	212	241
売上債権の増減額 (△は増加)	△423	1,109
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△920	△640
仕入債務の増減額 (△は減少)	349	△911
未払消費税等の増減額 (△は減少)	11	△144
その他の負債の増減額 (△は減少)	2,441	2,489
その他	△205	△929
小計	4,017	3,464
利息及び配当金の受取額	51	55
利息の支払額	△200	△236
法人税等の支払額	△1,021	△945
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,847	2,337

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,049	△726
定期預金の払戻による収入	694	711
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
有形固定資産の取得による支出	△985	△1,954
有形固定資産の売却による収入	40	47
無形固定資産の取得による支出	△49	△370
貸付けによる支出	△16	△6
貸付金の回収による収入	2	4
条件付取得対価に係る公正価値の変動額	1,850	—
その他	1	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	483	△2,296
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△348	402
長期借入れによる収入	—	196
長期借入金の返済による支出	△594	△870
セール・アンド・リースバックによる収入	—	380
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△261	△276
配当金の支払額	△574	△675
非支配株主への配当金の支払額	△231	△173
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,010	△1,018
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129	89
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,189	△887
現金及び現金同等物の期首残高	11,866	17,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,056	16,239

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当該事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当該事項はありません。

(会計方針の変更)

(作業くずの売却収入の計上区分の変更)

当社グループは、従来、製造の過程で生じる作業くず（金属屑及び廃液）の売却収入を営業外収益のスクラップ売却収入に計上しておりましたが、リサイクル技術の向上により製造工程で生じる作業くずの処分額が増加傾向にあることから原価管理の手法を見直したことを契機として、当第1四半期連結会計期間より製造費用から控除する方法に変更しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年同四半期については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結会計期間の売上原価が185百万円減少し、売上総利益及び営業利益が同額増加しておりますが、経常利益、税金等調整前当期純利益への影響はありません。

なお、従来の方法によった場合と比較して製造費用に与える影響が小さいことから、過年度の製造原価計算の再計算は行わず、各期のスクラップ売却収入は全額売上原価から控除して処理しており、前連結会計年度の期首の純資産への累積的影響額はありません。

(IFRS 16号「リース」の適用)

当社グループは、当第1四半期連結会計期間の期首より、日本基準を採用する当社及び国内子会社、並びに米国基準を適用する米国子会社を除き、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手は原則すべてのリースについて資産及び負債を認識することといたしました。

なお、本基準の適用による当社グループの財政状態及び経営成績に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

[前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)]

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン 軸受	自動車用 エンジン 以外軸受	非自動車用 軸受	自動車用 軸受以外 部品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,552	3,512	2,276	3,787	26,129	557	26,686
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47	496	0	31	575	120	696
計	16,600	4,009	2,276	3,818	26,705	678	27,383
セグメント利益	1,921	749	339	166	3,176	166	3,342

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,176
「その他」の区分の利益	166
セグメント間取引消去	20
全社費用 (注)	△1,613
四半期連結損益計算書の営業利益	1,749

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

[当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)]

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン 軸受	自動車用 エンジン 以外軸受	非自動車用 軸受	自動車用 軸受以外 部品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,426	3,468	2,397	3,735	25,027	454	25,482
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149	401	1	54	606	157	763
計	15,575	3,869	2,398	3,790	25,634	612	26,246
セグメント利益 又は損失 (△)	1,733	657	366	△12	2,746	139	2,885

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,746
「その他」の区分の利益	139
セグメント間取引消去	1
全社費用 (注)	△1,743
四半期連結損益計算書の営業利益	1,144

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。